

町田に響け♪「ワーク」と「ライフ」のハーモニー。



経営者の思い、届け
町田にある事業所では、「従業員の働き方」を純粹に考えた結果が、ワーク・ライフ・バランスだったのです。

「町田市仕事と家庭の両立推進企業賞」では、仕事と家庭の両立を積極的に推進する事業所を表彰しています。2014年度表彰された事業所の取り組みと、働く人の声をお伝えします。

町田に響け♪ 「ワーク」と

「仕事」と「家庭」、どちらも充実させるため、町田

いきいきと働いている女性の姿を学生に見せたいです

育児休業は対象年齢を2歳までに拡大して運用している。介護休業期間を、介護を要する者1人につき1年としている。学内に外部委員を加えた「ハラスメント防止委員会」を設置し、原則月1回開催している。



従業員の声

働きやすい環境が整備されているので、定着率も高く、男女ともに定年まで勤める人が多いです。雇用の平等が徹底されていて、職員数、管理職割合ともに女性が5割を超えています。

一事業所の概要を教えてください。

加藤：個性を尊重する大学です。その一環としてジェンダーフォーラムがあり、学内外に情報を発信し、イベントを開催しています。この活動と研究を通じて、学生も教職員も性差にとらわれない生き方への理解を深めていると思います。

一取り組みのきっかけを教えてください。

加藤：私自身、仕事をしながら出産・子育てをしてきた中で、色々な経験ができました。教育は、多様な経験が生きる場なので、こうした制度がしっかりと定着するよう願いました。

一期待する効果はどんなことですか？

加藤：現在本学では多くの女性が管理職に登用されています。日頃学生たちがその活躍ぶりを眼にしていると思います。こうした教職員の姿が励ましとなり、次世代を担う力になってくれると嬉しいです。



副学長 加藤三由紀

和光大学

町田市金井町 2160 044-988-1433

家庭や生活を大切にする意識が行き渡っています

ノー残業デーはサーバーの電源を落とす。4日連続休暇を奨励し、その間の仕事は他の職員が分担することをルール化。業務時間をデータ化・分析して、効率化を進める。フレックスタイム制も導入。



従業員の声

長期休暇制度と、仕事のバックアップ体制があるので、趣味の海外旅行にも気兼ねなく行けます。家庭や生活を大切にする「意識」が行き渡っていて、とても働きやすく、なにより職場の雰囲気がいいですね。

一事業所の概要を教えてください。

梅崎：JR町田駅のターミナル口を降りてすぐの会計事務所です。お客様から信頼され、安心をお届けする会計事務所を目指しています。また従業員全員が安心して働き、信頼し合える環境を創ることを理念としています。

一取り組みのきっかけを教えてください。

梅崎：この業界ではとすれば長時間労働が常態化する可能性があるため、「その人でないとわからない」状態を作らないための工夫と、従業員が心身ともにリフレッシュできるための仕組みを所長とともに考えました。

一どんな効果が出ていますか？

梅崎：従来の会計事務所のかたいイメージとは異なり、明るくて活気があります。仕事だけでなく、家庭や生活を大切にする意識が、職場全体に行き渡っています。



総務部 梅崎倫子

T&A 三宅会計事務所

町田市原町田 3-2-1 原町田中央ビル 5F 042-720-3120

「ライフ」のハーモニー。

市内の企業ではこんな取り組みが行われています。

キャリアを出来る限り継続させたい

正規社員が月給体制から時給体制に変更できるなど、生活に合わせた働き方を選択可能とした。出産・育児休業後の復帰支援として、保育園に入れるまでは休業とし、復帰場所やシフト時間帯の要望も受け付けている。



従業員の声

技術力を生かすことができ、長く働ける職場だと思います。昨年主任職に登用されました。責任も重くなりますが、これからもがんばりたいと思います。

―事業所の概要を教えてください。

末田：衣服のリフォームの会社です。主に百貨店を中心に寸法直し等を受注しています。技術を持った女性が多く働いています。

―取り組みのきっかけを教えてください。

末田：この業種は職人の質が仕事の成果に大きく影響します。以前は結婚・出産を機に退職する従業員が多かったのですが、経験を積むほど技術も身に付くので、キャリアをできる限り継続できる取り組みを行いました。あわせて、積極的な女性登用も課題として取り組むことにしました。

―効果はいかがですか？

末田：若い層が技術を継承していける環境が必要と考えて取り組みを行ってきました。多様な働き方を可能としたことで、働きやすい職場づくりに繋がっていると思います。



相談役 末田隆之

株式会社フレッサ

町田市根岸 2-1-28 マリノビル 042-792-0551

とにかく仕事を好きになってくれればいい

子の看護休暇は年間の取得日数の制限を無くし、対象年齢を小学校就学中まで拡大して有給扱いとした。職種ごとに研修カリキュラムを作成し、今まで男性職種といわれた建設事務に、女性を正規採用した。



従業員の声

子どもは急に熱を出すことがあるので、この制度があって安心しています。学校行事の休暇制度も、親としては大変助かる制度です。長く勤めることで、技術力を伸ばして行きたいと思っています。

―事業所の概要を教えてください。

菊池：空気調和・給排水衛生工事を中心とした業務です。地域の皆様に快適な生活環境を提案することが使命と考えています。

―取り組みのきっかけを教えてください。

菊池：もともと従業員の働きやすさを心がけていましたが、改めて就業規則として制度化したものです。女性に活躍してもらうため、社内研修制度を設けて、技術職を育成したり、働きやすい環境づくりのため施設の改修も行いました。

―効果はいかがですか？

菊池：これまで男性ばかりの職種でしたが、女性の仕事への真摯な姿勢や、資格の取得に積極的に取り組む姿など、社内環境にも良い影響が出ています。優秀な技術者を養成するために、まずはとにかく仕事を好きになってくれればいいと思っています。



代表取締役 菊池 悟

株式会社八設

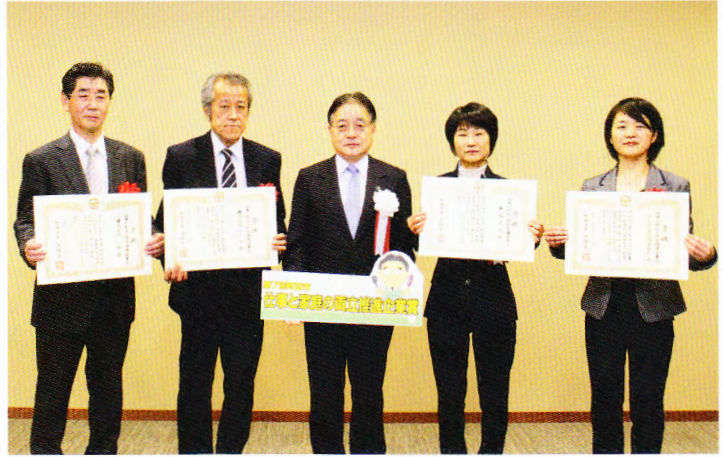
町田市相原町 788-1 042-770-2172

おめでとうございます！

(写真左から)

株式会社八設様、株式会社フレッサ様、
町田市長石阪丈一、和光大学様、
T & A三宅会計事務所様

今回は4つの事業所が受賞されました。



仕事と家庭の両立推進企業賞とは

町田市では仕事と家庭の両立に取り組む事業所を表彰しております。

受賞すると、取り組み内容を町田市のホームページや広報に掲載いたします。

市では、表彰事業所の取り組みを紹介することで、他の業種、事業所に取り入れていただき、町田市全体のワーク・ライフ・バランスの実現につなげていきたいという思いがあります。事業所によって反響は様々ですが、『社員一人ひとりが生活と仕事の両立を改めて考えるきっかけになった』、『取材を受けるようになって、メディアなどの露出が上がった』という感想をいただいております。

表彰を受けるためには

皆様の事業所にお話を聞きに伺いますので、お気軽にご連絡ください。自社では当たり前のことでも他社にとっては新たな気づきになることがあります。皆様の取り組みをぜひ私たちに教えてください。

町田市仕事と家庭の両立推進企業賞募集！

町田市は仕事と家庭の両立に積極的に取り組む事業所を表彰しています。あなたの職場で、このような取り組みをしていませんか？

- 社員が家庭のために使える社内制度を作った。
- 介護・子育て中の従業員のために工夫をしている。
- 社員が離職しないための工夫をしている。
- その他、独創的なアイデアで社員の家庭を応援している。

働き方を見直すことで、仕事も家庭も充実している事業所が町田にはあります。

あなたの職場をPRして、採用、人材確保に活用してみませんか？

【応募条件】 町田市内の企業及び事業所で、取り組みが市内で実施されていること。

【応募方法】 自薦・他薦は問いません。

指定の応募用紙（町田市ホームページからダウンロードできます）にて、
直接または郵送で提出してください。内容がわかれば、所定の用紙以外可。



【問い合わせ・応募窓口】

町田市男女平等推進センター 〒194-0013 町田市原町田 4-9-8 町田市民フォーラム 3階 TEL 042-723-2908

詳しくはこちら <https://www.city.machida.tokyo.jp/community/danjo/sigotoseikatutyouwa.html>